

取材先	CAP下関		
企画名	CAP下関25周年企画 ～こどもまんなか社会の実現にむけて～		
備考			
取材日	2025年2月8日(土)天候[雪] [13:30~15:30]	取材地	川中公民館

レポート

CAP下関は、子どもがいつも安心して自信を持って自由に生きていける、暴力の無い社会の実現を目的とし、小学校の絵本サークルのお母さんたちが中心になって活動を始め、今年で25周年を迎えました。この度 CAP下関25周年企画 として、さくらんぼプログラム「じぶん」と誰かのいろいろな関係を考える を開催しました。

さくらんぼ思春期プログラムは、児童生徒の自殺予防に向けた困難な事態、強い心理的負担を受けた場合等における対処の仕方を身につける等のための教育に活用するプログラムです。プログラムの特徴としては、基本的テーマ3つ（いじめ予防・自死予防・デートDV予防）で、思春期の発達を踏まえてプレゼンテーションを用いて思春期の特徴を分かりやすく解説しています。

この日の講座でも、プレゼンテーションによって思春期の気持ちの変化や、暴力は身体に受けるものだけではなく、どんな行為が暴力になるのか、そして自分に起きていることが自分だけではないし、必ず終わりが来ること、家族以外に親しい関係になった人との関わり方について学び、2人組に分かれて自分が「嫌だ」と感じた時に、口に出して相手に「イヤ」と伝える練習を行ったり、幼少期～思春期によくある疑問や悩みを例にペアで役割を決め、やり取りをすることで相手への対応の仕方を学ぶ、ロールプレイを行いました。

子どもの権利は大人より優先されること、子どもたちのプライドや権利が侵害されない、こどもまんなか社会の実現にむけて、「さくらんぼプログラム」を広く取り入れて頂きたいと思いました。

状況写真



講師:重永 侑紀 氏



プレゼンテーションの様子



質問タイム



参加者の皆さん



思春期あるある実演